

石川啄木の句の ように札幌は広い

——松野知之支店長は函館市のご出身ですね。

松野 函館に高校まで住んでいました。大学進学のため北海道から東京に行きました。それまで函館の風景や食べ物、当たり前のようには思っていない場所だったとあらためて実感しました。

子どもの頃、札幌にも家族で何回か旅行にきました。当時の札幌の印象は、「函館と違って、空が大きく見えて広いなあ」というものでした。「さっぽろ雪まつり」の真駒内会場で、大きな滑り台で遊んだことも楽しい思い出になっています。

実は今回赴任してきて、大通公園をたまたま散歩していると、石川啄木のミニユメントを見つけました。

函館を旅立った啄木は19

07年（明治40年）の9月14日から約2週間、札幌に滞在しています。

歌碑には次のような句が刻まれています。

「しんとして 幅廣き街の
秋の夜の 玉蜀黍の焼くるに



（まつのともゆき）1967年3月22日函館市生まれ。89年、東京大学経済学部卒業後、日本銀行に入行。2002年大阪支店調査役、06年名古屋支店営業課長、13年那覇支店長、16年広島支店長、18年検査室検査役などを経て、22年5月から現職。

松野 知之

日本銀行札幌支店長

全国の北海道ファンズの力を結集、橋渡しし役になりたい

松野知之氏は、今年5月に日本銀行札幌支店長に就任した。函館市の出身で、初めての北海道勤務となる。道内経済は緩やかに持ち直しつつあるが、今後は物価高や円安の影響も懸念される。松野氏に今後の経済見通し、そして北海道活性化策を聞いた。

ほひよ

「幅廣き街」とあるように、啄木も私と同じように感じたのだと、とても感動しました。あらためて札幌の地を訪れると、高いオフィスビルも多く建設され、発展しているままだと感じています。

——日本銀行を志望された理由は。

松野 大学から、日本経済、地域経済に貢献したい、という思いを持っていました。民間企業も受けましたが、人とのつながりもあり、当行に入社を決めました。

——日銀に入ってから、地方の主要都市での勤務も多

り、より強く感じました。沖縄も北海道と同じで観光が主力産業になっていますので。

物価高で、家計 防衛の動きが…

——北海道の経済状況をどのように分析されていますか。
松野 2年前から新型コロナウイルスによる影響が長らく続いてきました。

それが収まってきて、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などのさまざまな制限も解除されました。

——その一方、あらゆる面での物価高が叫ばれています。
松野 ウクライナ情勢が一つのきっかけとなり、原材料、食料品、燃料の価格が高騰し、北海道にも影響を及ぼし始めています。



いすね。

松野 これまで大阪、名古屋、那覇、広島各支店で勤務してきました。私は当行役員の中で、とくに地方勤務が多い方だと思っています。今年5月から、30数年ぶりに故郷に戻って来ることができ、大変うれしく感じています。

地方勤務でいろいろな方々とめぐり会うことができ、自身の大切な財産になっています。それを北海道のために役立てていきたいです。

——日銀で勤務しながら、北海道の状況をどうみてきましたか。
松野 各地の経済を見ると

きも、根底に「自分の故郷が北海道である」という自負があります。

「北海道はこうだった」「こういう違いがある」「この点は共通している」ということを意識してきました。

とくに沖縄に赴任した時は、日本の北と南ということもあ

物価が上がると、消費者も「家計防衛」の動きが始められます。

たとえば、従来以上にセー
ルやポイント還元率が高い日
に商品を買う比率が高まりま
す。現に流通業界の方々から
そうした動きが現れてきてい
るという声も寄せられています。

とくに北海道では、寒い時
期になると、燃料費、暖房費
の負担が、ずしりと家計にの
しかかります。

いまの時点では、コロナの
マイナスから回復してきてお
り、経済を上につっ張る力の
方が勝っています。そのため
道内経済は全体としては、緩
やかに持ち直している状況と
いえます。

今後、世界が平和になって
くれることを願いますが、
なかなか将来を見通せず、先
行きに不安を抱えています。

企業はコロナの厳しい状況
の中、耐えていた面もありま
したが、これからはコロナ後

を展望して、取り組まなけれ
ばいけない課題を持ち合わせ
ています。

昨今の物価高の中で、今後
も前向きに取り組んで行くの
か。それとも一度立ち止まる
のか。しっかりと状況の変化
を見極めていきたいです。

——物価高に加えて、円安
も進んでいます。そうした中
日銀はどんな対策を講じてい
ますか。

松野 海外では日本より早
いスピードでインフレが進ん
でいます。そのため、海外の
中央銀行の多くは、金融の引
き締めに舵をきっています。

為替はその時々状況で、
どのような要因が一番重視さ
れるのかに注目します。いま
は海外と日本の金利の差に着
目しているため、為替が円安
方向にシフトしているという
ことです。

企業の設備投資といった活
動だけではなく、住宅や自家
用車のローンなどの個人消費
を下支えていくためには、現

況の低金利の環境は大切にな
ります。

海外と国内の経済情勢を鑑
みた上で、当行では大胆な金
融緩和を継続しています。

——コロナ前、多くのイン
バウンドが道内を訪れて、観
光業界は活況を呈しました。
円安については、インバウン
ドを迎え入れる上ではチャン
スになります。

松野 実は2013年、1
4年の頃にも円安が進みまし



設けさせていただきました。

スポーツは地域経済 発展の起爆剤になる

松野 広島にいた16年、18
年は、広島東洋カープがセ
リーグ3連覇した時期で、ま
ちは大変盛り上がっていました。
いまやスポーツビジネス
は地域経済活動を支える大き
な柱です。

広島のほか、北海道から沖
縄まで野球、サッカー、バス
ケットボール等のスポーツビ
ジネスの関係者に集まってい
ただき、地域活性化を議論し
たこともありました。

北海道にもプロスポーツチ
ームが複数ありますので、地
域活性化の起爆剤になると思
います。

今回、全国の知り合いに北
海道への赴任を伝えると、「
いいね」「ぜひ、行きたい」
と、多くの声をかけていただ
きました。

コロナの感染拡大で厳しい

た。そのタイミングで、日本
のインバウンド、観光が大き
く伸びていきました。そうい
う意味で、為替の部分に着目
すれば、円安に関しては、日
本を旅行しやすい環境が整う
ので、インバウンドにはプラ
スに働きます。

ただし、コロナによる入国
制限がまだかかっているため
入口の部分広がっています
。今後、そうした制限が段
階的に緩和されていけば、さ
らなるプラス効果が期待され
ます。とくに観光産業のウエ
イトが大きい北海道のような
地域には、大きなチャンスが
めぐってくると思います。

地球温暖化への 取り組みに地の利

——北海道経済は、コロナ
により大きなダメージを受け
ました。ポストコロナ、ウイ
ズコロナを考えた上で、経済
活性化には何が大切でしょう
か。

状況に立たされたのは、全国
どこも同じです。

北海道と同じ悩みを持って
いる地方都市の方々が、「北
海道の人たちと一緒に取り組
めることはないのだろうか」
と言ってくださいいます。議論
してみたいと考えている方も
多いはずで、そうした場もつ
くっていきたいです。

経済発展の上では、技術革
新、インフラの整備は大切に
なります。そうしたことに加
えて、その地域を愛して、そ
の地域をよりよくしたいとい
う強い思いがなければ、真の
意味での地域活性化は難しい
と考えています。

私の周りだけでも、全国各
地に「北海道ファン」が多く
いらつしやいます。私自身が
そうしたみなさんと北海道の
橋渡し役になればと思ってい
ます。

北海道ファンの力を結集さ
せて、北海道が元気になるた
めに力を尽くしていく所存で
す。

松野 北海道といえば、や
はり観光、食、そして第1次
産業です。その分野では日本
の中で一番といていい競争
力もありますし、同時に世界
の方々から見ても魅力のある
場所です。

さらに、これだけ自然豊か
な地域です。脱炭素といった
地球温暖化への取り組みでも
地の利を持っています。今後
の成長がより期待される分野
で、活性化のためには、より
ブラッシュアップしていく必
要があります。

那覇支店長時代、海外輸出
のマーケットを調査しました。
もちろん北海道でも食関連の
輸出には大きな可能性を秘め
ています。それ以外の工芸品
の分野でも、世界に通用する
ような製品が眠っているかも
しれません。

物理的なモノではなく、北
海道の企業が保有するデジタ
ルコンテンツを海外に売り込
むこともできます。新しいマ
ーケットとして確立していけ